



全力投球

湖南省立石部中学校 学校便り NO6

☆スマホから ホームページ右上▷ 三 ▷ 広報(全力投球)

☆パソコンから ホームページ▷ その他▷ 広報(全力投球)

記事をカラーで見えていただくことができます。

らんぶねつえん 「嵐舞烈炎」～輝け 我ら 超新星 SUPER NOVA～

10/7 体育祭をおこないました。



緊急事態宣言の発令によって、当初の予定を延期しましたが、10月7日に石部中学校体育祭を実施することができました。3色の団に分かれ、各種目やりりレー、団アピールと精一杯の活動をおこないました。新型コロナウイルス感染症の対策をとりながらの実施となりました。見ていただくことは3年生保護者に限定させていただくことができました。活動が制限されることも多くありましたが、できることを、工夫をしながら、実施することができました。たくさんの笑顔があふれる体育祭となりました。

【種目 短距離走(女子70m・男子100m)】



【大玉はこび】 【全員りりレー】 【団対抗りりレー】



どの種目も精一杯の姿が見られました。コロナ禍で声を抑えて拍手で応援する姿が最後まで途切れることがありませんでした。





「団アピール」では団ごとに工夫を凝らしたパフォーマンスがおこなわれました。はつらつとした動き、笑顔いっぱいの表情がどの団も素晴らしかったです。当日はもちろんのことですが、それまでに企画、立案していくこと。それを団員に丁寧に指導していくこと。すべてのメンバーの協力があったからこそ、素晴らしい演技でした。



黄団 「鸞翔蜂集」らんしょうほうしゅう
 蜂をイメージした団アピールにしました。
 1曲目のかわいらしい踊りから2曲目のかっこいい踊りへの変化と、3曲目のポンポンで創り上げるウェーブと文字に注目してください。
 蜂のように一致団結した最強の英雄たちによるパフォーマンスをお楽しみください。



青団 「天下無双」
 「天下無双」はBreak the sky limit 限界を超えるという2つの意味があり、この「天下無双」を基に練習してきました。ダンス中の笑顔、団結力、雰囲気、全力、すべて完璧で天才のパフォーマンスと最後のウェーブに注目してください。



赤団 「炎天喜楽」
 赤団の意気込みは、歌詞をイメージした、明るさ、元気さ、笑顔を大切にしたダンスを3学年皆で全力投球で取り組むことです。練習で特に力を入れた所は、ウェーブのときなどの細かい動きに気をつけ、美しい演技を意識したことです。

【準備・後始末・役員・応援】

部活動や委員会、学年、学級などで体育祭の準備や後片付けを行いました。真面目にできばきと動いている生徒の皆さんをたくさん見ることができました。種目や団アピールだけががんばって、その他のことは知らんぷりならば、体育祭の価値は下がってしまうでしょう。今年度も体育祭を通して学んだ「力を合わせ協力する」ことが、最後の後片付けまでできていたことに本当の素晴らしさを感じさせられました。



体育祭成績

【競技の部学年別優勝】

1-1 2-3 3-1

【団アピール最優秀賞】

青団（1-3、2-3、3-1）

【総合優勝】

青団



【体育祭を終えて 生徒振り返りから】

【1年生】1年生にとっては、初めての体育祭でした。中学校の体育祭の雰囲気をごどのように感じたでしょうか？先輩との関係はどうだったのでしょうか？取り組みを通して学んだことはあったでしょうか？

私が感じたのは今までにない楽しさです。私は今まで、こんな大勢と団結して悔しんだことはなかったです。だからその分とてもみんなでやりとげてがんばったときの楽しさ喜びが大きかったんだと思います。そしてみんなでやりとげて団結する大切さを改めて学びました。心が1つになってより深く感情が大きくなりました。これからも、何事にもみんなでやりとげていきます。

1年1組生徒

中学生になって初めての体育祭。不安なときもたくさんあったけど、先輩方がやさしく教えてくれたりしたので自信を持って活動できました。私も2年生になったら、1年生にやさしく教えてあげられるようになりたいと思いました。競技のときは、全力で取り組み、赤団の人ががんばっていると一生懸命応援したりして、1人ひとりが、がんばっていてすごいなと思いました。

1年2組生徒

初めての体育祭でリレーのときや団アピールのときとても緊張していたけど、やってみると、とても楽しくて、緊張していたことなんか忘れるくらい楽しむことができました。優勝したこともとってもうれしかったです。練習してきたことが全部発揮できたということも優勝に少しはつながったんじゃないかと思いました。

1年3組生徒



【2年生】これから、石部中学校を導いていくいく学年になります。昨年度は無我夢中な部分はあったでしょうが、今年は周囲のことにも気がつき、感想を書いた人も多かったようです。素敵な3年生の姿を見ながら、来年の自分の姿をイメージした人もいました。

体育祭やって、出来て、よかったと感じた。団長、団リーダーの方がホワイトボードとかで予定をかいてあるのを見かけたりして凄いなと思いました。最終日にみんなが予定通りできたときとてもうれしかった。団長さんや団リーダーさんのようになれたらいいなと尊敬しました。今年は協議担当をして、少し、体育祭に貢献できたかなと思いました。

2年1組生徒

私は初めて団リーダーをして、みんなをまとめられるか不安だったけど、みんな協力してくれたおかげでやりとげることができました。新しい経験ができて良かったです。3年生もみんな本当にやさしくて、来年はこんな人たちになれたらいいなと思います。クラスでも最後まであきらめずにできて良かったです。

2年2組生徒

初めて中学校に入っの体育祭の優勝でうれしかったです。1番幸せに感じたのはリレーです。どの学年でもどんな人でも同じ色のメンバーに大きな拍手で応援することができました。あの楽しさと達成感は初めて感じたものだったし、青団に入って良かったなと思える瞬間でした。一生忘れないと思います。

2年3組生徒



【3年生】企画練習すべてを通して最上級生として学校をリードしていました。団アピールでは、丁寧に粘り強くときにはユーモアを交えながら下級生が楽しく活動できるよう気を配る姿が魅力的に見えました。体育祭全体が、活気に満ちあふれながらも、素直に周囲を応援できる、温かさを感じる雰囲気を3年生が創りあげてくれました。

初めて団リーダーをしてみんなをひっぱていけるか不安でしかなかったけど、団リーダーで話し合ったり学年で練習するたびに不安が無くなって、自信が生まれて、自分の意見をだしたりなど、自分からできることがたくさん増えて、この短期間でずいぶん成長ができたと思うので、団リーダーをして良かったなと思いました。

3年1組生徒

体育祭という競技をする場では、もちろん1位になるチームがでできます。それでもどの団も一人ひとりが勝ちたいという気持ちはもっていたので、コロナ禍で色々制限されていた中でも、とても良いものができたと思いました。そしてそういったやる気から準備も後片付けもしっかりやっていると感じました。そして、全校の3学年が協力しあえる貴重な機会だし、学年が違えど、一つのものをつくるとなると皆が一生懸命になれるんだと学びました。

3年2組生徒

最初はとても不安でした。でも、先生や団リーダーの人たちが勇気づけてくれてとっても仲間で大事なと改めて思いました。でも本当にみんな暑い中がんばってくれて、とってもうれしかったです。みんなに感謝してもしきれないです。本当に最高の黄団です。

3年3組生徒





10月～の行事予定（新型コロナの感染状況等で、変更になることがあります）

3年修学旅行
10/24(日) 25(月)
に延期 河口湖方面
3年振替休業日
10/26(火)

10/18(月)～22(金)
全校三者懇談会
11/5(金) 文化祭
11/15(月) 16(火)
第3回定期テスト
12/15(水)～21(火)
3年3者懇談会

12/23(木)
2学期修業式
1/6(木)
3年実力テスト
1/7(金)
3学期始業式
2/17(木) 18(金)
第4回定期テスト
3/24(木)
修了式

《入学試験の日程》
2/8(火) 9(水)
県立推薦特色スポーツ
・文化芸術選抜
3/9(水)
県立一般入試学力検査
3/10(木) 実技検査
3/15(火) 卒業式
3/16(水) 県立入学許可予定者発表



歌声（校長のつぶやき）

今は昔、私だってコンサート（今はライブというのでしょうか？）に行っていたころがありました。大好きだった『サザンオールスターズ』は大阪へ、友人から強く勧められた『浜田省吾』は京都へ、『甲斐バンド』は名古屋へ、コンサートのために出かけていきました。全員総立ちの、熱狂の中で、時間はあっという間に過ぎていきました。貧乏学生には痛い出費であったはずなのですが、他のことは節約しても、コンサートの費用は惜しいとは感じなかったようです。

私の小中学生時代は、テレビで歌番組が数多くあったころでした。パソコン、スマホ、DVDやBRレコーダーは当然なかった時代でした。歌を繰り返し聞くためには、テレビの前にマイクとカセットテープを置いて、番組を直接録音するしか方法はありませんでした。当時を知る人なら、『あるある』なのですが、録音した曲に、妹の走りまわる足音や「御飯やで！」と母親が呼ぶ声ははいつてしまうことなどは日常茶飯事でした。好きな曲はテープがぼろぼろになるまで繰り返し聴いていました。

聴くと、勝手に体が踊り出してしまう曲もありますね。私の妹世代なら『ピンクレディー』でしょう。完璧に躍れる人が今も潜んでいるはずです。（UFO！）。私の子ども世代ならば『モーニング娘。』（日本の未来はウオ！ウオ！ウオ！ウオ！）。私が子どものころなら『山本リンダ』（ウララ！ウララ！ウラウララ！）さすがに中学生の皆さんは、この人のことは知らないと思いますけど。中学生の皆さんが、思わず体が動いてしまう曲って何なのでしょう？体育祭の練習で皆さんが踊っている姿はとても楽しげで、すごくかわいく見えますね。

いつの時代であっても、歌詞やメロディー、歌声、ダンスに感動し、曲を聴くことが大好きな人はたくさんいます。お気に入りのアーティストがいる人も多いでしょう。歌声が私たちに感動を与えてくれます。

歌声が感動を与えてくれる場面といえば、学校での合唱があります。皆で心を通わせ歌う姿やハーモニーのとれた歌声はアーティストに負けないぐらい感動を与えてくれます。私も合唱を聴くことは大好きです。しかし、新型コロナ感染症のことがあり、今は、コロナ以前のように合唱することができない状況が続いています。いずれ、マスクをはずして1人ひとりが精一杯の歌声を響かせることができる日が必ずくると信じています。その日まで我慢していきましょう。

生まれてから今まで、たくさんの曲を聴き、多くの歌声に接してきたはずなのですが、突然『「〇」から始まる曲は？』と言われたとき、真っ先に浮かんだ曲は次のような曲でした。

「あ」⇒「アイアイ、アイアイ、お猿さんだよ～（童謡）」。「い」⇒「インドの山奥で修行をして（愛の戦士レインボーマン）」。「う」⇒「うさぎ追いし、かの山～（文部省唱歌・故郷）」。「え」⇒「エッサ、エッサ、エサホイサッサ、お猿のかごやだ、ホイサッサ（童謡）」。「お」⇒「おお牧場は緑、草の海、風が吹くよ（チェコ・スロバキア民謡）」

童謡や民謡、文部省唱歌が多くなりました。年齢からしかたないことなののでしょうか？「愛の戦士レインボーマン」は、マイナーすぎてほとんど知られていないでしょうが。

追伸 さらに「か」は「かあさんが夜なべをして～」で、「き」は「北風小僧の寒太郎～」でした。